

Title	臨床死生学・老年行動学分野 活動報告
Author(s)	
Citation	生老病死の行動科学. 2015, 19, p. 45-51
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/57141
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

臨床死生学・老年行動学分野 活動報告

1. 研究会報告

本研究室では、月1回第1水曜日に中之島キャンパスにて研究会を開催している。平成26年度は、下記の通り、6回研究会を開催した。

第28回 2014年4月9日

話題提供者 田淵 恵 (関西学院大学大学院文学研究科)

テーマ 高齢者の「知恵袋」の継承, そのとき若者は? : 世代間相互作用の実験的検討

第29回 2014年5月7日

話題提供者 藤原 佳典 (東京都健康長寿医療センター研究所)

テーマ 高齢者のシームレスな社会参加を支援する仕掛けとは～就労支援からデイサービスまで

第30回 2014年6月4日

話題提供者 宅 香菜子 (オークランド大学)

テーマ 遺族及び医療従事者における外傷後成長

第31回 2014年7月2日

話題提供者 西田 裕紀子 (国立長寿医療研究センター)

テーマ 知能の加齢変化とその要因に関する長期縦断研究

第32回 2014年10月1日

話題提供者 堀 薫夫 (大阪教育大学)

テーマ 教育老年学の展望と課題

第33回 2014年12月3日

話題提供者 高橋 雅延 (聖心女子大学)

テーマ 高齢の超記憶力者に関する実験的検討-円周率10万桁暗唱の秘密-

2. 学位論文一覧

平成 26 年度は、下記の通り、学部生 7 名、博士後期課程単位取得退学者 2 名が学位論文を提出した。

卒業論文

家族介護者と被介護者の関係性に関する質的研究 —良好な関係を保つ百寿者家族を対象に—	飯尾 紗代
老いの受容についての一検討 —シルバー川柳に対する笑いから—	伊藤 董
中高年者の主観的余命と世代性の関連	中田 小百合
プライミング課題を用いた高齢者の世代性に関する実験的検討	橋本 裕美
大学生の自己開示における被開示者の特性における一検討	長谷川 素子
大学生の高齢者イメージと親への介護観	福嶋 あつき
高齢者における社会参加の変化とその関連要因 —社会参加位相モデルの検証—	古野 桃子

博士論文

高齢者のポジティブ優位性に関する認知機序の解明 —若年者との比較による実験心理学的研究—	上野 大介
高齢期における Valuation of Life —未来へのポジティブな評価に着目して—	中川 威

3. 業績一覧

以下は、本研究室の教員、特任研究員および大学院生による本年度（2015年3月末まで）の業績一覧である。なお、以下の業績は各個人の報告に基づくものである。

佐藤 眞一 教授

【著書】

- 佐藤 眞一（監修）（2014）. 認知症ケア事例集— 認知ケア・よりそうケアのすすめ方— 大阪府.
佐藤 眞一・高山 緑・増本 康平（2014）. 老いのこころ— 加齢と成熟の発達心理学— 有斐閣.
佐藤 眞一ほか（編集）（2014）. 日本老年行動科学会（監修），高齢者のこころとからだ事典 中央法規.

【著書・海外】

- 佐藤 眞一（2014）. 林 美琪（訳） 父母老後為什麼總是那麼固執？聽見老年人心理和行為轉變背後的心聲 木馬文化（台湾）

【論文・国内誌】

- 豊島 彩・佐藤 眞一（2015）. 孤独感統制下における独自志向性と感情的ウェルビーイングの関連性の検討, 心理学研究, 86(2), 印刷中.

【紀要(年報)】

- 中川 威・山本 浩市・権藤 恭之・佐藤 眞一（2014）. 老年心理学の先駆者—橘覚勝の足跡—, 生老病死の行動科学 17/18, 9-17.
豊島 彩・佐藤 眞一（2014）. 高齢者のソーシャルサポートの提供に対する評価の質的検討, 生老病死の行動科学 17/18, 65-78.

【その他】

- 佐藤 眞一（2014）. 高齢者の行動の謎 年金時代 43(7), 13.
佐藤 眞一・祖父江 逸郎（2014）. 高齢者のこころを理解して社会参加のアプローチを, Aging & Health, 23(3), 6-11.
佐藤 眞一（2014）. 『老いのこころ—加齢と成熟の発達心理学』を上梓して 書齋の窓, 636, 77-80.

【参加した学会】

- 第15回日本認知症ケア学会大会, 東京
第56回日本老年社会科学会大会, 岐阜
第78回日本心理学会大会, 京都
第17回日本老年行動科学会, 東京
第9回日本応用老年学会大会, 神奈川
第14回福祉住環境ネットワーク会議全国大会, 北海道
第26回日本発達心理学会大会, 東京
第2回福祉住環境サミット, 大阪

権藤 恭之 准教授

【論文・国内誌】

権藤 恭之 (2014). 国際研究による老年社会科学からの健康長寿へのアプローチ, 日本老年医学会雑誌, 51(1), 35-38.

権藤 恭之・石岡 良子 (2014). 高齢者心理学の研究動向—認知加齢に着目して—, 日本老年医学会雑誌, 51(3), 195-202.

【論文・国際誌】

Arai, Y., Inagaki, H., Takayama, M., Abe, Y., Saito, Y., Takebayashi, T., Gondo, Y., & Hirose, N. (2014). Physical independence and mortality at the extreme limit of life span: Supercentenarians study in Japan. *The Journals of Gerontology, Series A Medical Sciences*, 69(4), 486-494.

Congrains, A., Kamide, K., Hirose, N., Arai, Y., Oguro, R., Nakama, C., Imaizumi, Y., Kawai, T., Kusunoki, H., Yamamoto, H., Onishi-Takeya, M., Takeya, Y., Yamamoto, K., Sugimoto, K., Akasaka, H., Saitoh, S., Miura, T., Awata, N., Kato, N., Katsuya, T., Ikebe, K., Gondo, Y., Rakugi, H. (in press). Disease-associated polymorphisms in 9p21 are not associated with extreme longevity. *Geriatrics and Gerontology International*.

Inomata, C., Ikebe, K., Kagawa, R., Okubo, H., Sasaki, S., Okada, T., Takeshita, H., Tada, S., Matsuda, K., Kurushima, Y., Kitamura, M., Murakami, S., Gondo, Y., Kamide, K., Masui, Y., Takahashi, R., Arai, Y., & Maeda, Y. (2014). Significance of occlusal force for dietary fiber and vitamin intakes in independently living 70-year-old Japanese: from SONIC Study. *Journal of Oral Rehabilitation*, 42(5), 556-564.

Okada, T., Ikebe, K., Inomata, C., Takeshita, H., Uota, M., Mihara, Y., Matsuda, K., Kitamura, M., Murakami, S., Gondo, Y., Kamide, K., Masui, Y., Takahashi, R., Arai, Y., & Maeda, Y. (2014). Association of periodontal status with occlusal force and food acceptability in 70-year-old adults: from SONIC Study. *Journal of Oral Rehabilitation*, 41(12), 912-919.

Rosa, G., Martin, P., Gondo, Y., Hirose, N., Ishioka, Y., & Poon, L. (2014). Examination of Important Life Experiences of the Oldest-Old: Cross-Cultural Comparisons of U.S. and Japanese Centenarians. *Journal of Cross-Cultural Gerontology*, 29(2), 109-130.

Takeshita, H., Kazunori, I., Kagawa, R., Okada, T., Gondo, Y., Nakagawa, T., Ishioka, Y., Inomata, C., Tada, S., Matsuda, K., Kurushima, Y., Enoki, K., Kamide, K., Masui, Y., Takahashi, R., Arai, Y., & Maeda, Y. (in press). Association of personality traits with oral health-related quality of life independently of objective oral health status: A study of community-dwelling elderly Japanese. *Journal of Dentistry*.

【紀要(年報)】

中川 威・山本 浩市・権藤 恭之・佐藤 眞一 (2014). 老年心理学の先駆者—橘覚勝の足跡—, 生老病死の行動科学 17/18, 9-17.

【参加した学会】

第 56 回日本老年社会科学大会, 岐阜

第 30 回日本霊長類学会大会, 大阪

第 78 回日本心理学会大会, 京都

The 20th International Centenarian Consortium, Osaka, Japan.

The 28th International Congress of Applied Psychology, Paris, France.

The 10th Supercentenarian Workshop, Paris, France.

The 67th Annual Scientific Meeting of the Gerontological Society of America, Washington, DC, U.S.A.

中川 威 助教

【著書】

中川 威 (2014). 日本老年行動科学会(監修), 高齢者のこころとからだの事典 中央法規, 44-45.

【論文・国際誌】

Takeshita, H., Kazunori, I., Kagawa, R., Okada, T., Gondo, Y., Nakagawa, T., Ishioka, ., Inomata, C., Tada, S., Matsuda, K., Kurushima, Y., Enoki, K., Kamide, K., Masui, Y., Takahashi, R., Arai, Y., & Maeda, Y. (in press). Association of personality traits with oral health-related quality of life independently of objective oral health status: A study of community-dwelling elderly Japanese. *Journal of Dentistry*.

【紀要(年報)】

中川 威・山本 浩市・権藤 恭之・佐藤 眞一 (2014). 老年心理学の先駆者—橘覚勝の足跡—, 生老病死の行動科学 17/18, 9-17.

【その他】

中川 威 (2014). 100 歳以上高齢者の心理的発達に関する質的研究, ジェロントロジー研究報告, 11, 90-97.

【参加した学会】

第 56 回日本老年社会科学大会, 岐阜

第 26 回日本発達心理学会大会, 東京

The 20th International Centenarian Consortium, Osaka, Japan.

The 28th International Congress of Applied Psychology, Paris, France.

The 67th Annual Scientific Meeting of the Gerontological Society of America, Washington, DC, U.S.A.

沼田 恵太郎 特任研究員

【論文・国内誌】

沼田 恵太郎 ・嶋崎 恒雄 (2014). 結果の強度が2次の回顧的再評価に与える影響
心理科学研究(関西学院大学), 40, 51-61.

【参加した学会】

第32回日本生理心理学会大会, 千葉

第22回日本感情心理学会大会, 岐阜

第78回日本心理学会大会, 京都

第126回関西心理学会大会, 大阪

大庭 輝

【著書】

大庭 輝 (2014). 認知症ケア事例集—認知ケア・よりそうケアのすすめ方— 佐藤 眞一 (監修)
大阪府.

【論文・国内誌】

大庭 輝・高 宏・佐藤 眞一 (2014). 認知症の利用者に対する介護職員の感情的負担感に及ぼす有能感の影響 日本認知症ケア学会誌, 13(2), 482-489.

【紀要(年報)】

大庭 輝 (2014). 認知症ケアにおける内発的動機づけ研究の提案—介護職員を対象とした研究の現状と課題から—, 生老病死の行動科学 17/18, 79-89.

【参加した学会】

第12回日本発育発達学会大会, 大阪

第15回日本認知症ケア学会, 東京

第33回日本心理臨床学会, 神奈川

第17回日本老年行動科学会, 東京

第73回日本公衆衛生学会総会, 栃木

第79回日本民族衛生学会総会, 茨城

第33回日本社会精神医学会, 東京

松井 智子

【論文・国際誌】

Tanimukai, H., Adachi, H., Hirai, K., Matsui, T., Shimizu, M., Miyashita, M., Tsuneto, S., & Shima, Y. (2014). Association between depressive symptoms and changes in sleep condition in the grieving process. *Supportive Care in Cancer*, 1(7), in press.

【紀要(年報)】

松井 智子・平井 啓・松向寺 真彩子・徳山 まどか (2014). がん患者のグループ療法に対する参加動機 生老病死の行動科学 17/18, 49-63.

【参加した学会】

第 27 回日本サイコオンコロジー学会, 東京

第 27 回日本健康心理学会, 沖縄

The 16th World Congress of Psycho-Oncology and Psychosocial Academy, Lisbon, Portugal.

豊島 彩

【論文・国内誌】

豊島 彩・佐藤 眞一 (2015). 孤独感統制下における独自志向性と感情的ウェルビーイングの関連性の検討 心理学研究, 86(2), 印刷中.

【紀要(年報)】

豊島 彩・佐藤 眞一 (2014). 高齢者のソーシャルサポートの提供に対する評価の質的検討, 生老病死の行動科学 17/18, 65-78.

【参加した学会】

第 56 回日本老年社会科学学会大会, 岐阜

第 26 回日本発達心理学会大会, 東京

The 20th International Centenarian Consortium, Osaka, Japan.

The 67th Annual Scientific Meeting of the Gerontological Society of America., Washington, DC, U.S.A.

The 16th Annual Convention of Society of Personality and Social Psychology, Los Angeles, U.S.A.

小園 麻里菜

【参加した学会】

第 78 回日本心理学会大会, 京都

The 20th International Centenarian Consortium, Osaka, Japan.

久保田 彩

【参加した学会】

The 10th International Conference on Grief and Bereavement in Contemporary Society, Hong Kong, China.

The 67th Annual Scientific Meeting of the Gerontological Society of America., Washington, DC, U.S.A.